

東広島市美術館建設基本構想・基本計画（案）に関する意見募集の結果について

東広島市美術館建設基本構想・基本計画（案）について、平成27年12月9日から12月22日まで意見の募集を行い、23人49件の提出がありました。

意見の概要とそれに対する考え方については次のとおりです。なお、今回の意見募集にかかわらずこれまでお寄せいただいた美術館建設に対するご意見についても総括する形でまとめてありますので参考にしてください。

意見の概要	意見に対する考え方
立地環境等について（9件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・美術館、西条中央公園、芸術文化ホール、西条駅、酒蔵地区が連動し、一体的な計画としてほしい。 ・八本松の現在地は不便で集客にも不向きであるが、建設予定地は西条駅に近く地理的には好条件のため、どのようにして人に来てもらうか工夫してもらいたい。 ・公共交通が発達している場所で、出かけたついでに寄ろうと思えるような場所がよい。 ・美術館は、芸術文化ホールとの間にある西条中央公園を含めた設計とし、公園内に屋外彫刻や美術館へのアプローチがあるとよい。 	<p>西条駅を中心とする「文化・芸術・交流ゾーン」における美術館整備は、市民生活の質的向上や中心部における経済活力の強化など、多面的な都市機能向上につながり、酒蔵地区などのさまざまな観光資源との連携により、集客力や回遊性の向上、市民同士や市民と観光客との交流促進が期待されるものです。（基本構想5ページ）</p> <p>今後は、美術館、公園、芸術文化ホール等が一体となってアート空間として広く認知されるよう整備を推進してまいります。（基本計画13ページ）</p>
展示公開機能について（8件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・酒に関係した美術の収集・展示を検討してほしい。 ・東広島市の特徴を出せるようなここでしか見ることのできない内容を検討してほしい。 ・大学の美術制作発表等、若い人の企画作品展を積極的に開催するべきである。 	<p>酒蔵地区との連携など、美術館だけでなく、外に開かれたまちぐるみの展覧会や国際学術研究都市東広島市にふさわしく、国内外に発信できるような自主企画展や、利用ニーズの高い全国巡回の特別展の開催などを展開するとともに、本市の特性を活かした特徴ある公募展を検討する（基本計画2ページ）こととしており、大学との連携も含め、推進してまいります。</p> <p>⇒基本計画2ページを一部修正しました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・油彩画、彫刻、現代美術など幅広い分野を扱えるとよい。 	<p>展示室は、絵画・版画・陶芸・彫刻などの各分野や規模の大小などさまざまな特別展に対応できるものとしてまいります。（基本計画3ページ）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・企画展（個展・グループ展）の枠（スペース&時間）取りを十分にとる。 	<p>展示室は可動壁などによって分割可能なものとし、展覧会の内容に柔軟に対応できるようにします。（基本計画2ページ）</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・運搬用の大型エレベーターを設置してほしい。 	<p>美術品の移動が円滑に行えるよう計画してまいります。（基本計画9ページ）</p>

収集保管機能について（4件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・継承するとしている収集方針とはどのようなものか。また収集作品は、どのように決定しているのか。 	<p>現在の美術品等収集基本方針では、本市及び周辺地域を中心とした将来性豊かな作家の優れた作品、県内の美術史上重要な価値を有する作品、版画・陶芸などをはじめとする近現代美術の流れを展望できる内外の優れた作品などを収集することとしています。（基本計画3ページ）また、収集する作品は、市の附属機関であり、専門家からなる美術品等収集委員会に諮って、決定しています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・現代版画的な重点コレクションなど、テーマを集約すべきである。 ・油絵や彫刻を収集し、それらの展覧会を計画してほしい。 	<p>西日本で有数のコレクションを形成しつつある版画など、これまでのコレクションを継承しつつ、地域の生活・産業・歴史に根差した新たな分野の作品も収集し、本市の特色を活かした美術品の収集を行う（基本計画3ページ）こととしており、特徴をさらに重点化し、伸ばしながら、幅広い収集のあり方を検討してまいります。</p>
教育普及機能について（5件）	
<ul style="list-style-type: none"> ・東広島市は、学園都市と中核産業都市であり、芸術・文化、子どもたちの工作・発明などの創造を支援できる美術館を目指してほしい。 ・体験できるような空間があるとよい。 	<p>絵画、版画、陶芸、デザインなど市民の多様な体験学習や創作活動などのワークショップを提供するため、創作アトリエ、ワークショップ室を備える（基本計画4ページ）こととしており、これらを活用した支援のあり方を検討してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・「ライブラリー」には、全国の美術館の情報や展示会チラシなどが見られるようにしてほしい。 ・現在の東広島美術館の所蔵作品目録を見たいと思うが、どこに行けば見ることができるか？新美術館になれば所蔵作品の一覧表などを映像ライブラリー等で見ることができるか？ 	<p>展示されている作品等に関わる情報をはじめ、美術に関する情報を提供するライブラリー機能を設けます。（基本計画4ページ）</p> <p>また、新美術館では多様な情報を扱うこととして（基本計画5ページ）おり、文字・音声・静止画・動画等によるライブラリー機能についても検討してまいります。</p> <p>⇒基本計画4ページを一部修正しました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・現在の市美展では、市民の参画もレベルも学園都市としては情けない限り。市民を美術に興味を持たせ参加を啓蒙し、レベルの向上を目標としてほしい。 ・美術に関する講演、講習会に気軽に参加できるようにしてほしい。 	<p>年間定期教室、夏休み期間等における集中教室、特別展・企画展に併せた教室等のワークショップを検討するとともに、企画展や特別展に併せての講座や、定期的な美術講座や研修などの事業を展開し（基本計画4ページ）、さまざまなニーズに対応するこうした取り組みを通して、美術に関する普及啓発を図ってまいります。</p>

<p>情報発信機能について（1件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化ホールと一体となって地元の美術・文化情報を含めた情報誌を発行してほしい。 	<p>新美術館は、芸術文化ホールや公園と一体となった街のオアシスとなる環境を目指すものですが、情報の一体的提供についても芸術文化ホール等との連携手法を探ってまいります。</p> <p>⇒基本計画5ページを一部修正しました。</p>
<p>交流連携機能について（11件）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆったりと心と合わせる時間が持てるため、茶室を設けてほしい。 ・人が集う場としての機能(カフェやレストラン)を求める。 ・地元の芸術家の方々の発表の場としての利便性や入場者が親しみやすく足を運べる雰囲気であってほしい。 ・出展する人も見る人も気軽に利用できる明るい雰囲気があればいいと思う。 ・展示室内もしくは入口付近にも、休憩用椅子やソファを設置すべきである。 ・身体の不自由な方、高齢者の移動や鑑賞方法に配慮してほしい。（館内入口の車椅子、手すり、エレベーター等） 	<p>ロビー空間は、開かれた美術館として多目的に活用できるものとするとともに、ミュージアムショップ・喫茶コーナー等を配置し、利用者の憩いの場として、また、隣接する公園からの導入など気軽に立ち寄ることができる仕掛けや雰囲気づくりを行ってまいります。（基本計画6ページ）また、芸術文化ホール内にはカフェ&レストランや炉が切られた和室があることから、美術館～公園～芸術文化ホールでの連携も含めて検討してまいります。</p> <p>⇒基本計画6ページを一部修正しました。</p> <p>ユニバーサルデザインに配慮し、誰にとっても利用しやすいものとし（基本計画6ページ）、子ども・身障者・高齢者等の移動や鑑賞に充分配慮したものとします。</p> <p>⇒基本計画6ページを一部修正しました。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・金沢21世紀美術館のように、開館時に小学校1年生から中学校3年生までの全員を美術館に招待するような取組はあるのか？ 	<p>学芸員による館内での鑑賞教室や出前美術館などの教育普及事業を展開していきますが（基本計画4ページ）、児童・生徒全員を招待するような取組とするかについては、学校教育と連携し今後検討してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・県内外の美術館との連携とあるが、具体的にどの美術館が候補となっているのか。 	<p>現在、県内では広島県美術館ネットワーク、全国レベルでは全国美術館会議に加盟して、情報共有等を図っていますが、今後は企画展等の事業を通じた、さまざまな連携を検討してまいります。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・美術館は学芸員の力が大きいと言われているが、広大な協力も得てじっくり育ててほしい。 	<p>館単独の調査研究に加え、広島大学などの本市及び周辺地域の学術研究機関等と連携することが必要であると考えており（基本計画6ページ）、さまざまな連携のあり方を模索してまいります。</p>

<p>その他（11件）</p>	
<p>・市民ギャラリーとの役割の違いを教えてください。 金沢 21 世紀美術館では美術館の中に市民ギャラリーがあり、とても効果をあげていると聞いている。</p>	<p>市民が企画し、参加する展覧会のための施設である市民ギャラリーは、現在フジグラン東広島にあります。来年4月には芸術文化ホール内に移転します。新美術館とは近接するため、市民ギャラリーと美術館とが連動する企画など、これまで以上に連携の図りやすい環境が得られると考えています。（基本計画11ページ）</p>
<p>・駐車場はどのように確保するのか。</p>	<p>建物周辺におもいやり駐車場や搬入出用駐車場を確保するほか、一般来館者には西条岡町駐車場を利用させていただく予定です。 ⇒基本計画14ページを一部修正しました。</p>
<p>・猪熊弦一郎現代美術館や奥田元宋小由女美術館のように外観だけで行ってみたいと思うようなものが良い。 ・建設費を抑え、簡素な設計とし、維持費がかかりすぎないようにするとよい。</p>	<p>来年度から新美術館の設計を行うこととしており、その中で具体的なデザインや維持管理費等について検討してまいります。</p>
<p>・開館時間について、来館者の都合を考慮し、例えば午後から夕方遅くまでなどの設定も検討すべきである。</p>	<p>管理運営体制については、来年度以降検討することとしています。</p>
<p>・新美術館での展覧会別の入館者予想を示せ。</p>	<p>展覧会は、その内容や美術館の立地環境等によって入館者数にバラつきがあるため、その予測値は出していませんが、今後展覧会やワークショップ等の活動内容を具体化する中で、入館者の目標値を示せるよう検討してまいります。</p>
<p>・美術館運営の事業収支計画予想を項目ごとに数字で示せ。</p>	<p>基本計画では、個々の経費を積み上げるのではなく、他館の施設規模や年間運営費等から試算し、年間運営費を約1億円としています。今後運営体制や活動内容等を具体的に検討する中で、収支計画を示せるよう検討してまいります。</p>

※「意見の概要」には、類似した内容の意見をまとめるなどした上で、記載しています。

※略記 基本構想：東広島市美術館建設基本構想（案）

基本計画：東広島市美術館建設基本計画（案）